

会員・関係各位

新年のご挨拶

特定非営利活動法人

地域総合スポーツ倶楽部・ピボットフット

理事長 桑田 健秀

新年あけましておめでとうございます。

皆様には新年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、災害や事故での年明けとなり、ウクライナや中東における戦争やその影響で、社会環境が大変厳しいものになりました。コロナ災禍も終息したものの未だ未だ予断を許さない状況で、不安の中で過ごされた一年だったのではないかとご推察申し上げます。

スポーツ界ではパリ五輪が開催され、日本選手団の活躍が日本国民に大きな感動と希望と勇気をもたらせてくれました。MLBにおける大谷選手の超人的な活躍もあり、スポーツの価値を改めて高めてくれたのではないかと思います。特に、バスケットボールでは48年ぶり自力での本大会出場となり、48年前に選手として出場した私も後輩たちの活躍に心を躍らせておりました。

新年を迎え、ピボットフットといたしましても、その価値を地域において更に向上させる一年にしていきたいと考えております。昨年5月より中学校部活動の地域連携・移行のモデル事業が大田区でスタートし、ピボットフットが区から事業受託業者として選定され活動しております。地域でのスポーツを担う我々にとりまして、大きな変革が始まりました。本年は事業拡大の方向性が出されており、ジュニア期におけるスポーツ活動を学校と地域がより深く連携して行うこととなります。

当倶楽部といたしましては、17種目54のスポーツ教室の充実と発展、地域社会に貢献するヤマトフォーラムの運営と合わせ、子供たちから高齢者まで幅広く、大田区民に「安心・安全で継続的にスポーツや運動が行える良質な環境づくり」を最重要テーマと考えており、行政や地元関係諸団体とより良い連携協働のもと活動を推進してまいります。増々地域スポーツクラブの役割が大きくなっていくことになるのではないかと予測しております。

2025年は、干支と十二支から乙巳（きのとみ）となり、「成長」や「変革」の年と言われております。私にとりましても節目の年男となります。より充実した年になるよう精進してまいります所存です。

今年も会員・関係皆様のご理解とご協力を賜りながら、大きく飛躍・発展していく年としていきたいと思っておりますので、引き続きご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様とご家族様にとりまして良い年となりますようお祈り申し上げます。

以上